

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分	
コード	名称			区分	コード	
事業名	1024	図書館管理費			会計	01 一般会計
基本施策	33	だれもが生きがいを育てる機会をつくる			款	10 教育費
施策	6	図書館活動の充実事業			項	05 社会教育費
				目	07 図書館費	
				細目	107 図書館管理経費	
				細々目	01 図書館管理経費	
基本計画該当頁	133	担当部課	コード	450700	評価者氏名	岡森勝彦
行革大綱の重点事項番号		名称	上野図書館		連絡先	21 - 6868 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	市民	成果(どうなるのか)	市民(一般公衆)の教養、調査研究、レクリエーション等に資する。
	(対象件数)			
開始年度	平成 18 年度	関連事業	おはなしボランティア養成講座・2階展示コーナーの活用。	
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	図書館法、伊賀市上野図書館設置条例など	
本年度事業内容	1 一定時期における開館時間の延長定着化による利便性の拡大により利用者のニーズに沿う。 2 図書館システム更新及びネットワーク(上野図書館・大山田図書室・阿山図書室・青山図書室)を構築の準備。 3 ボランティア養成講座の開催 4 古文書の整理事業 6 古文献刊行会の出版事業	状況変化等	延長時間帯における利用者の増加 ボランティア養成講座(11人)の結果図書館内外での読み聞かせなどの活動の取り組み 古文献刊行(図書館所有・伊賀旧考 伊賀記翻刻)ほか	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(運営は伊賀市文化都市協会に委託)
2 配置(予定)人員	2 人
3 年間運営費	61,292 千円
4 市内の類似施設	公民館図書室(図書館法に基づかない)

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
開館日数	日	目標	276	276	276
		実績	276	276	276
貸出利用者数	人	目標	47,866	48,480	49,480
		実績	46,472	47,480	
蔵書数	冊	目標	160,881	167,851	172,851
		実績	156,873	162,851	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
			H17	H18	H19	H20	
利用者延べ人数	利用満足度などを指標とすべきであるが把握が困難なため本指数を採用	人	目標	100,000	104,000	105,000	106,000
			実績	100,935	99,011		
貸出冊数	利用満足度などを指標とすべきであるが把握が困難なため本指数を採用	冊	目標	200,000	206,000	206,000	
			実績	188,877	197,515		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	法・条例に基づく実施事務事業・受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事務事業。
有効性	4	書籍の購入やボランティアの養成によって、利用者(市民)の満足度増大、書籍は新刊本ほか閲覧者の購読の期待感が充足され、また、ボランティアの養成は、結果として18年10月から読み聞かせの会が、「えほんの森」を毎月第4土曜日に開催して、親子の参加(毎回10組以上)がなされている。
達成度	3	利用者延べ人数が前年度に比して減少した。利用者数の増に向けて一段の努力が必要。
効率性	4	現行の一連の図書館運営の中心をなす司書等にかかる人件費については文都への委託によりコストは低い。めまぐるしく変動する社会に対応する図書館のあり方については、「生涯学習の場から教育の場」への検討が必要との最近の指摘もある。その状況のなかで最小限度での館運営費用である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	利用者の増加のため及び利便性を考慮して、開館時間の延長に取り組む。 また、図書館を単に生涯学習の場だけとしないで、おはなしの会などの各種事業に取り組む。 あわせて施設の拡充整備について検討する。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	⇔	委託料		40,599	委託料		40,136	委託料		40,227	委託料		47,738
		備品購入費		10,765	備品購入費		10,459	備品購入費		10,000	備品購入費		10,000
		使用料賃借料		6,658	使用料賃借料		6,551	使用料賃借料		6,551	使用料賃借料		8,551
		その他		3,457	その他		4,147	その他		3,699	その他		3,699
		事業費計(A)		61,479	事業費計(A)		61,293	事業費計(A)		60,477	事業費計(A)		69,988
事業投入人員		人件費(B)	2.0 人	人件費(B)	2.0 人	人件費(B)	2.0 人	人件費(B)	2.0 人	人件費(B)	2.0 人		
フルコスト(A)+(B)			61,479		61,293		60,477		69,988				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	61,479	61,293	60,477	69,988
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他	134	157	140	140
	一般財源	61,345	61,136	60,337	69,848
	計	61,479	61,293	60,477	69,988
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	教育図書購入基金利子・複写料・弁償金	教育図書購入基金利子・複写料・弁償金	教育図書購入基金利子・複写料・弁償金	教育図書購入基金利子・複写料・弁償金